



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第120号

発行:2016年4月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

新年度を迎えて

～ 地域の皆様と共にある鵬友会を目指して ～

医療法人社団鵬友会 理事長 池島 秀明



本年も変わらず、法人本部のある湘南泉病院の周囲では、満開の桜が患者様、職員の目を楽しませてくれます。桜が例年と同じように人々の目を楽しませてくれるように、我々医療法人社団鵬友会も、当法人の基本理念である『当会の設置経営する施設は永年医療業務に関与してきた立場より、この経験を活かしつつ「科学的で良質かつ適切な医療、看護、介護」を普及することにより、ソーシャルサービスの精神をもって地域の皆様から信頼される医療及び福祉に貢献すること』に則って、地域の皆様の健康の維持にお役にたてるように、毎年変わらず努力をして参りたいと思っております。

また本年度、医療法人社団富士恵仁会より、一般病院のフジヤマ病院、介護老人保健施設リバブルケア、介護老人保健施設いかる野を当法人に迎えることとなりました。医療法人富士恵仁会は、地域密着型で地域の信頼の厚い医療法人ですが、引き継ぐ後継者の不在などの理由により、富士恵仁会の強い希望のもと本年度より鵬友会の一員となりました。

急性期一般病院の湘南泉病院では、昨年来より急性期病院としての医療技術の充実を行ってまいりました。今年度も常勤医師の拡充、それに伴い新たな専門外来を開始いたしました（疼痛外来等）。また特に外科系治療の充実をおこなうため麻酔科常勤医師の招聘を行い、地域の基幹病院である聖マリアンナ医科大学との連携に伴い、専門医による消化器疾患の手術、整形外科の急患に対する手術等、治療の上での充実をおこない、安心できる充実した医療の提供において、地域の皆様のお役にたてるようにより一層努力いたします。

医療療養型病院の新中川病院では、本年度「病院機能評価の認定」を取得することができました。また新たな内科常勤医師の招聘を行い、慢性期医療療養型病院としての機能をより専門的に高め、重度の症状をもたれる療養患者の皆様にも安心していただけるようにより一層の充実した医療を目指します。

認知症専門病院の横浜ほうゆう病院では、従来と同様に認知症を患っている患者の皆様へのQOLに配慮した医療・介護の実践を行っております。また地域の先生方との連携の推進ならびに院内部門間での速やかな連絡を行い、昨年度より推進して参りました緊急入院を含めた入院までの待ち時間の短縮をより一層おこない、地域の認知症専門病院として、皆様のお役にたてるようにより一層努力いたします。

鵬友会所属の三病院共に、地域の基幹病院である聖マリアンナ医科大学病院、横浜市立大学医学部付属病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、国立病院機構横浜医療センターや国際親善病院、また地域医師会所属の病院、クリニックの先生方とより一層の密接な関係を築くことにより、私どもが提供いたします医療技術だけでなく地域の皆様と皆様が必要としている医療技術を持つ医療機関との橋渡しも含め、地域の皆様のお役にたてるようにより一層努力いたします。

一般病院のフジヤマ病院は、本年度より鵬友会の一員となりました。「円滑な地域医療連携」を目標に、市内医療機関・富士宮市医師会の先生方との連携強化に努め、地域連携室の開設などをおこない地域の皆様方の希望に添えるように職員一丸となりより一層努力いたします。

本郷クリニックでは、平成22年4月の開設以来、瀬谷区本郷地区とその周辺の皆様の生活習慣病や呼吸器疾患を含めました内科全般を担当させていただいて参りました。今年度はなお一層、地域の皆様に信頼される地域のかかりつけ医としてお役にたてるようにより一層努力いたします。

介護老人保健施設の阿久和鳳荘では一昨年来、認知症専門棟にて介護に困ることが多い認知症の高齢者の方々へ介護に取り組んでまいりました。そのような従来の取り組みに加えて本年度は、在宅支援への取り組みを着実に進めていき、地域で介護が必要な皆様へ「老健」として、お役にたてるようにより一層努力いたします。

介護老人保健施設リバブルケア、介護老人保健施設いかる野は、本年度より鵬友会の一員となりました。

「円滑な地域介護連携」を目標に、地域の先生方との連携強化に努め、また地域で介護が必要な皆様方の希望に添えるように職員一丸となりより一層努力いたします。

訪問看護ステーションのほうゆう訪問看護ステーション、介護支援事業所であるほうゆう介護支援事業所では、本年度は「住み慣れた自宅で快適な療養生活を送れるように、ひとりひとりの状態に合わせた看護、介護を提供する」とした従来の取り組みに加え、小児や精神疾患を患われた患者様、利用者様などが快適に利用していただけるよういたします。そのために看護・介護に必要な人材の育成および、職員、事業所の自己評価にて私どもの看護・介護の質の向上を目指すことにより、地域の皆様の在宅支援サービスのお役にたてるようにより一層努力いたします。

横浜市認可保育園であるほうゆう保育園は、昨年度より定員60名の認可園として開園いたしました。本年度は園児の皆様へ、様々な経験をしていただくため専門の指導員による体育指導を取り入れ、「体を動かすことが楽しい」と感じてもらえるようにと思っております。本年度も児童保育の分野で地域の皆様のお役にたてるようにより一層努力いたします。

以上、本年度の鵬友会各施設の展望を申し述べて参りました。私ども鵬友会は、今後とも現状に甘んじることなく、さらなる向上を求めて職員一丸となって研鑽を積むことにより医療、福祉、保健、児童教育の分野での幅広い対応をはかり、地域の皆様のお役に立つ医療法人を目指していきたくと思っております。

ここにあらためまして皆様のこれまでの鵬友会へのご支援に深く感謝申し上げますと共に、鵬友会の発展のため、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年度スタート！～平成28年度入職式/新採用者研修～



池島 理事長

平成28年度入職式が4月1日（金）湘南泉病院会議室において執り行われました。法人内各施設から新入職者総勢19名が集まり、緊張の面持ちで新たな第一歩を踏み出しました。

まず初めに池島秀明理事長の挨拶があり、「鵬友会と他の施設の違う点を大事にしてもらいたい。一般的な施設は、患者さんの病気を診ることが主ですが、当法人は、患者さんを診ることに重点をおいています。困っている患者さんは、全て当法人内で診ていくように考えております。みなさんにとって、やりがいのある法人ですので、諸先輩方と協力し合い、頑張ってください。」と新入職者への期待を述べました。



【 会 場 】



池島 常務理事



講義風景



続いて、池島 守 常務理事から『鵬友会の組織の概要』についての講義、片桐恵美子 新中川病院看護部長から『鵬友会で仕事をする時、求められる職業倫理』についての講義、後半は上村義孝 課長から、社会人としてのマナーなどの接遇研修を行い、式は終了しました。



片桐 看護部長



上村 課長



講義風景



【 会 場 】

「入園式」～ご入園おめでとうございます～

平成28年4月1日 ほうゆう保育園



【 園長挨拶 】



【 お遊戯 】



【 お遊戯 】

認可保育園へ移行して2回目の【入園式】が開かれ、新入園児とその保護者が来園しました。今年度は0歳児3名、1歳児9名、2歳児13名、3歳児14名、4歳児12名、5歳児6名、合計57名のスタートです。